

Title	『哲學』投稿規程
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	2016
Jtitle	哲學 No.137 (2016. 3) ,p.151- 151
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000137-0151

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『哲学』 投稿規程

1. 締切日
各年度末に発行する通常号につきましては、10月末を締め切りとしております。
2. 論文体裁
和文の場合：原則として本文約 20,000 字以内、注・文献 4,000 字以内、欧文アブストラクト 200 語程度を添付。
欧文の場合：原則として本文 7,000 語以内、注・文献 1,400 語以内、欧文アブストラクト 200 語程度を添付。
3. 論文以外の講演（外国語原稿の翻訳）、書評、解説、反論記事等の体裁につきましては、編集幹事にお問い合わせください。
4. 投稿時には、完成原稿のプリントアウト 2 部を提出。掲載が認められた場合の入稿時には、完成原稿のプリントアウトとファイルを保存した CD-R 等の電子記録媒体を提出。（記録媒体には、テキスト・ファイルの形式、ワープロソフト名を明記してください。）
5. 投稿は、三田哲学会会員であることを条件としております（入会手続きにつきましては、庶務幹事までお問い合わせください）。
6. 投稿論文の採否は編集委員会で決定いたします。
7. 投稿原稿は、書留郵便または塾内書留便で、下記編集幹事宛にお送りください。その際、原稿表紙に氏名、所属・身分、連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）を明記してください。
8. 原稿提出および投稿に関する問い合わせ先（三田哲学会編集幹事）
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学文学部内
三田哲学会 『哲学』 編集幹事 奈良雅俊
E-mail: nara@flet.keio.ac.jp
9. 『哲学』は慶應義塾大学学術情報リポジトリを通じインターネット上で公開されます。したがって、応募される方は投稿論文の公開にすでに同意した上で投稿されているとみなされますので、この点、ご注意ください。

Instruction to the Authors

A paper should be normally up to 7,000 words with notes/remarks and bibliography (up to 1,400 words). An around 200-words abstract should be attached. Two hard copies and CD-R (preferably DOC, DOCX, Plain-text file) should be submitted to

Editor of "Philosophy"

Mita Philosophy Society, Department of Ethics, Faculty of Letters

Keio University

2-15-45 Mita, Minato-ku, Tokyo 108-8345, JAPAN

The author should be a member of Mita Philosophy Society. (Please write to Mita Philosophy Society for inquiry of the membership if needed.) The final decision of the acceptance of papers for publication will be decided by the editorial board of the Society.

A paper in Japanese or in Chinese should follow the Japanese instruction above.